

| | | | | | |
|--------|---------------------|-----|-----|---------|---------|
| 教科(科目) | 日本史A | 単位数 | 2単位 | 学年(コース) | 2学年(理系) |
| 使用教科書 | 『現代の日本史』(山川出版社) | | | | |
| 副教材等 | 『最新日本史図表 新版』(第一学習社) | | | | |

1 学習目標

わが国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

歴史の流れを大切にし、日本史の全体像を理解させるようにつとめる。
基礎・基本的な事項の定着をはかるとともに、入試に対応できる力の養成も普段の授業や定期考査を通じて行う。
歴史的思考力を育て、興味ある学習となるよう、資料(写真・図版など)を積極的に活用する。

3 学習計画

| 月 | 単元名 | 学習活動(授業内容) | 備考 |
|-------------|-------------------------|---|-------|
| 1 学 期 | 第1章 開国と明治維新 | 1 明治維新の背景 2 開国とその影響 3 政治秩序の崩壊 4 明治維新と連続的改革 5 対外関係の変革と内乱の終結 | 中間考査 |
| | 第2章 近代国家の形成と発展 | 1 立憲政治をめざして 2 憲法の制定と議会の開設 3 東アジアの国際環境と条約改正問題 | |
| | 第3章 産業化の推進と国民生活の変化 | 4 清国との戦い 5 藩閥・政党の対立と協力 6 ロシアとの戦い 7 日露戦後の国際関係と日本 1 産業革命の推進 2 資本主義の確立とその特色 3 社会問題の発生 4 国民文化の形成 5 国民生活の変化 | 期末考査 |
| 2 学 期 | 第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー | 1 第一次世界大戦と日本の外交 2 デモクラシーの高まりと政党 3 国際協調と軍縮の進展 4 政党政治の時代 5 大戦中から戦後の経済と社会 6 都市化と大衆文化 | 中間考査 |
| | 第5章 第二次世界大戦と日本 | 1 昭和恐慌 2 協調外交のゆきづまり 3 満州事変から国際的孤立へ 4 軍部の政治的台頭 | |
| | 第6章 占領下の日本 | 5 中国との戦い 6 第二次世界大戦と国際秩序 7 太平洋戦争 8 日本の敗北 1 占領政策の展開 2 戦後民主主義の定着 3 政治・経済の再編 4 独立の回復 | 期末考査 |
| 3 学 期 | 第7章 日本の自立と経済成長 | 1 55年体制の成立 2 安保体制下の日本 3 高度成長の光と影 | 学年末考査 |
| | 第8章 現代の世界と日本 | 1 激動する世界 2 国内政治の再編成 3 アジア・太平洋戦争と日本 4 21世紀の課題 | |

4 課題・提出物等

提出物および長期休業中の課題は別途指示する。

5 評価規準と評価方法

| ①関心・意欲・態度 | ②思考・判断・表現 | ③資料活用の技能 | ④知識・理解 |
|---|--|---------------------------|---|
| 各単元の学習内容のポイントを意識して授業中の諸活動(説明を聞く、課題を考える等)に取り組んでいる。 | 各単元の学習内容の意味と現代の自分達との関わりを考えることができたか。自分の知識や考えを場面に応じて適切に表現することができる。 | 諸資料を多面的に判断して意見を述べることができる。 | 各単元の学習内容を相互に関係するものとして「歴史の流れ」の中で理解し、覚えることができる。 |
| 評価は、「授業中の学習への取り組み(発問への対応、課題への取り組み等)」、「課題・レポートの内容や提出状況」、「小テストや定期考査」などを材料に総合的に行う。 | | | |

6 担当者からの一言

予習・復習を欠かさずに行い、教科書の内容の理解に努めること。また各自問題集などを購入し、繰り返し取り組むことも実力養成には効果的である。わからないことは遠慮なく質問を。

